【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	14	14	6	20
洋画	57	57	10	67
彫刻	6	6	7	13
工芸	26	26	7	33
書	25	25	12	37
写真	58	58	7	65
イラスト	21	21	3	24
合計	207	207	52	259

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】（敬称略）

日本画	水野　收	（日展特別会員、松伯美術館館長、京都日本画家協会理事、奈良芸術短期大学公開講座講師）
洋画	岡田　俊一	（日洋会理事、奈良県美術人協会会員、奈良市美術家協会会員、日展会友）
彫刻	土田　隆生	（京都女子大学名誉教授、彫刻家、無所属）
工芸	河合　徳夫	（日展特別会員、日本新工芸家連盟理事、同近畿会会長）
書	山本　南竹	（日展会友、元読売書法会理事）
写真	金澤　徹	（日本写真芸術学会理事、成安造形大学名誉教授）
イラスト	横山　夢	（成安造形大学非常勤講師）

【批評会】　令和8年11月14日（土）　14:30　～
キラリエ草津（市民総合交流センター）　5階・6階

【表彰式】　令和8年11月14日（土）　16:00　～
キラリエ草津（市民総合交流センター）　1階　多目的室

【後　援】（順不同）

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・株式会社平和堂
草津市教育会・草津商工会議所・草津ライオンズクラブ
草津ロータリークラブ・草津美術協会・草津市21世紀文化芸術推進協議会
草津市国際交流協会・公益財団法人草津市コミュニティ事業団
社会福祉法人草津市社会福祉協議会・レーク滋賀農業協同組合
e－radioエフエム滋賀・滋賀リビング新聞社・ZTV滋賀放送局
株式会社チェキポン

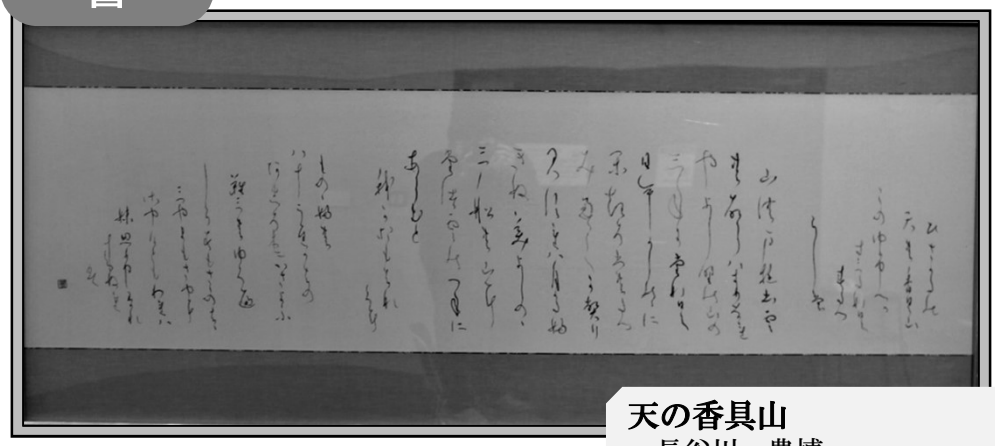
市展賞

彫刻



始まる
岩崎　高志

書



天の香具山
長谷川　豊博

イラスト



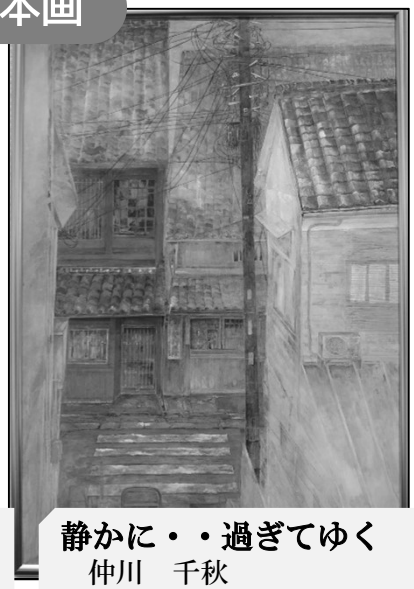
ボクは葉っぱ！
清水　圭子

工芸



切り絵　食卓上のグラス
藤本　信也

日本画



静かに・・過ぎてゆく
仲川　千秋

写真



氷海の狩人
永井　敏夫

洋画



蠢く生命
大森　治

日本画

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		水之国	眞野　滋夫
2	市展賞	静かに・・過ぎてゆく	仲川　千秋
3	特選	いのちの鼓動	藤本　梨恵
4	無鑑査	鶏頭	太田　由紀子
5	市展委員	瞼に雨	吉岡　佐知
6	審査員	おひるね	水野　收
7	出品委嘱	仲秋	稲岡　仁彦
8	市展委員	降りそそぐ光と共に	早川　裕子
9	無鑑査	夢祈り	草川　京子
10	佳作	逓信舎	本田　充
11	草津市教育会会長賞	旧街道	山口　正男
12		スイスの高い山	前田　澄子
13		寄り添い（秋）	タカハシ　キクヨ
14	滋賀県芸術文化祭奨励賞	片隅に	西野　薫
15		富士を望む鷹	草川　せつ子
16		奥山のせせらぎ	後藤　寛治
17		油日の春	園　滋
18		野小屋	操田　順子
19		祈りを捧げて	中川　きよ美
20	佳作	水のない川の春	奥野　幸一

洋画

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	市展デビュー賞	海	金　智予
2	無鑑査	遊びの時間	木村　順一
3	無鑑査	郷愁	四方　勉
4	無鑑査	秋葵	角井　廣
5	佳作	さんぽ道	細井　綾子
6	佳作	秋映えの渓	野﨑　かおる
7		冬の比良山	湯ノ口　敏雄
8	KBS京都賞	たらい舟	藤井　康彦
9		ワインボトルと仲間達	増山　恵子
10		水鏡	松本　博幸

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
11		碧の洞窟	木内　悦子
12		暁の虹	青家　すず子
13		初雪	山田　ひで子
14		晩秋の渓流	河合　千恵子
15	BBCびわ湖放送賞	琵琶湖の夜景	髙畑　誠
16		木漏れ日	村瀬　章高
17		草津宿本陣	髙畑　靖子
18		園	三上　幸子
19	無鑑査	心の星座を描く	石橋　国夫
20	市展委員	コンテナターミナル	山元　敏子
21	出品委嘱	遠き日（エスキース）	岡島　春美
22	審査員	薔薇	岡田　俊一
23	出品委嘱	葦	田中　孝
24	市展委員	渓谷の街	矢野　信司
25	市展委員	Spring has sprung	森　邦博
26		網を引く	村上　陽子
27	佳作	冬萌	堀　政子
28	草津市教育長賞	タイムストーリー	川岸　達雄
29		孤高のレガシー「時の記憶」	藤井　吉久
30	佳作	二人の絆からはじまる平和	森口　政博
31	草津美術協会会長賞	黄昏時（琵琶湖の生命力）	吉田　安今巳
32	佳作	ARUKU	佐藤　裕
33	草津市コミュニティ事業団理事長賞	頂上まで	吉岡　友太郎
34	佳作	瓦	柴田　みどり
35	佳作	水鏡	大西　隆夫
36		お堀の桜	中川　きよ美
37		秋色	加藤　房江
38		静けさ	中西　淑子
39		京都大原三阡院	辻　廸子
40	特選	浜辺のにぎわい	植西　勇人
41	佳作	煌めき・の中で	宮村　博
42		ねぶたまつり	近藤　和子
43		ウクライナ	西村　征一郎

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
44		アンコールワットと孫	鎌田　和江
45		よしと小舟	札本　倫子
46		野の花Ⅱ	白井　あや子
47		にいにいと（兄々と）	畠中　博
48		蓮池	林家　清子
49	市展賞	蠢く生命	大森　治
50		いきいき	山本　清子
51	佳作	憩いの場所	平野　有希
52		キングプラテアと向日葵	西出　照子
53		五重塔	三村　正行
54		彦根城花いかだ	河合　直子
55		古道を歩く	溝辺　行雄
56	佳作	かずら橋	石川　由紀子
57		花咲く小径（フランス）	福田　昌甫
58		響	白石　愛一郎
59		色とりどりの世界	讃岐　英知
60		三悪道のＡＩ核兵器	冨田　隆
61		夕陽	井上　政憲
62		開花	梅津　本多ガブリエーレ
63	草津市２１世紀文化芸術推進協議会会長賞	閉山の輝き	蓮見　美穂
64		集中	眞野　秀一
65	佳作	長尾池幻影	正木　俊行
66		安心の内側	安孫子　美海
67		上高地	戸田　廣子

彫刻

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	市展委員	朝露の煌めき	石田　秋次
2	市展デビュー賞	怨念	宮田　健太朗
3	佳作	夏の少女	斎藤　辰美
4	出品委嘱	夏の夜	嶋畑　貢
5	市展賞	始まる	岩崎　高志
6	無鑑査	「ウー」の啞	三原　敏夫
7	草津商工会議所会頭賞	蒼茫	廣瀬　一行
8	無鑑査	天平の光～祈りの形～	伊庭　靖二
9	特選	アデニウムモドキ	木村　順一
10	滋賀リビング新聞社賞	伐折羅大将おもて	良有無門
11	審査員	チビと散歩	土田　隆生
12	出品委嘱	私と猫	笹山　幸徳
13	市展委員	醒	伊庭　照実

工芸

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		道のり	森貞　豊子
2	草津ﾗｲｵﾝｽﾞｸﾗﾌﾞ会長賞	網をばらく	深田　宏
3	無鑑査	モンステラと私	江川　勝子
4	市展賞	切り絵　食卓上のグラス	藤本　信也
5		食の秋	田義
6		闇輝手まり	芳賀　隆弘
7		厄舌達磨	古川　アルマ
8		Lys	たなか　あゆみ
9		秋の森の妖精さんたち	山本　しのぶ
10		光のめぐり	石岡　浩代
11	ZTV滋賀放送局賞	炎舞	加地　景子
12	市展デビュー賞	蒼碧	内林　祐大
13		中秋	安武　諒人
14		スヴェルトな壺	寺西　健二
15		BIWAKO×BIWAKO	杉立　好正
16	特選	条件付特定外来生物	草瀬　真吾
17		生命の舟	杉原　公嗣
18		深淵の住人	古市　裕人
19	えふえむ草津賞	流転	金澤　真叶
20		剛柔	國本　繁雄
21	草津市議会議長賞	不老不死	古庄　祐翔
22	佳作	花々のシンフォニー	森田　幸子
23	佳作	あかねさす	山本　紀久子

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
24		みんな仲間　べー	綾井　喜一郎
25		少女	伏木　利子
26		桜道走るノロッコ号	阿月
27		ルイ14世の庭	福田　ちず子
28	無鑑査	彷徨の舟	末岡　京子
29	出品委嘱	春近し	髙橋　政男
30	審査員	睡蓮	河合　徳夫
31	出品委嘱	鶏頭	井隼　慶人
32	市展委員	歪ー「窓」	三原　サダ子
33	市展委員	湖辺	下川　まち子

書

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名	雅号
1		雍陶詩	小寺　厚子	
2		汪廣洋詩	田中　久美子	久華
3		五言句	奥　綾	
4	市展委員	福寿	今居　潤子	青桃
5	出品委嘱	憶	岡本　了壽	藍石
6	審査員	素雪曉凝華	山本　清一	南竹
7	出品委嘱	風暖鳥聲碎	岡田　優三	祖翠
8	市展委員	大智詩	川添　裕子	翠湖
9	市展委員	秋風に	三浦　久美子	清舟
10	無鑑査	芭蕉の句	中島　弘子	翠湖
11	無鑑査	ワーズワースの言葉	中村　徹	徹堂
12	無鑑査	飯田蛇笏の句	小野澤　絹代	蕙湖
13	無鑑査	漢詩句	長谷川　久枝	桂園
14	無鑑査	竪起拳頭	徳地　比佐美	湖咲
15	無鑑査	和暢	小倉　緑	翠苑
16	佳作	岑参詩	新庄　さとみ	
17	佳作	崔元翰詩	中島　民恵	
18		五言句	中嶋　文子	湖響
19		正岡子規の句	久保　敦子	紫湖
20	佳作	万葉集　秋のうた	横山　郁恵	
21	佳作	郭祥正詩	渡邊　紀子	
22		五言句	我孫子　弘子	弘湖
23	佳作	唐詩	亀井　よし子	佳芳
24	佳作	史記伯夷列伝	松宮　孝明	
25	市展デビュー賞	李商隠詩	野崎　友那	
26	中日新聞社賞	田家雑興	宮﨑　誠司	海山
27	特選	西句橋	西川　文	文苑
28	市展賞	天の香具山	長谷川　豊博	
29	草津ﾛｰﾀﾘｰｸﾗﾌﾞ会長賞	「觀獵」王維詩	髙井　恭子	
30	毎日新聞社賞	柳宗元詩	西川　實智子	
31		二十四節気（秋）	髙橋　喜久代	香伶
32		日野草城の俳句	前田　知咲	寿香
33		名利共休	卯田　和美	
34		寺山修司の俳句	髙山　萌恵子	
35		五言絶句	田口　文子	
36		五言句	中村　郁花	
37		小倉山	宮﨑　マヤ子	

写真

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	佳作	Boss	北垣　節子
2	佳作	Whoa!	中田　守治
3		家路	田中　博文
4		凝視する列	荒川　道一
5		氷点下の鼓動	田村　昌也
6	平和堂賞	猫の細道	中村　友美
7		古刹	詫間　秀夫
8	読売新聞社賞	梅雨のメロディー	佐々野　京子
9		明けゆく淡海	原　慎一朗
10	佳作	愛のスカイライン フォーエバー	加藤　國子
11		儚き移ろい	中野　一雄
12	佳作	祭の魂	小川　武司
13		急げ！	杉立　好正

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
14	特選	鉄骨の回廊	林　久雄
15	出品委嘱	休漁ー沖島ー	西岡　伸太
16		幾星霜	松村　里子
17		俯瞰	房安　幸夫
18	審査員	9/11メモリアル博物館にて 2014年8月30日 米国ニューヨーク州ニューヨーク市	金澤　徹
19	市展賞	氷海の狩人	永井　敏夫
20	朝日新聞社賞	わたしも参加	田中　康明
21	市展デビュー賞	身ひとつ	太田　綺弥
22	レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞	流紋氷彩（共演）	田中　延子
23	佳作	水面の邂逅	平塚　亨
24	佳作	秋日和	藤原　厚士
25		寒野仏	樋口　浩司
26	草津市社会福祉協議会会長賞	お花見散歩	西村　敬治
27	佳作	時が止まる	百武　忠
28		孤独の舞	黒田　幹彦
29	ＮＨＫ大津放送局長賞	或る日の光景	中村　若枝
30		都会の断片「昭和追憶」	山田　力
31	市展委員	山伏	髙谷　禮子
32	市展委員	視線	山田　幸子
33		守る	田村　勇人
34		晩秋の人影	寺田　吉廣
35		神聖	常石　由美子
36		激写	丸田　良則
37		穏やかな水かがみ	中村　敏治
38	無鑑査	威嚇	二宮　紀彦
39	無鑑査	日暮れ時	山元　國一
40	無鑑査	涼秋深し	尾崎　良一
41		夢幻回廊	植田　信子
42		静光動光ー花火ー	鈴鹿　竹二
43		刻の膨張	藤本　義隆
44		蓮に集う	佐々江　勝
45		厳寒の参道	藤田　文子
46		リスです。住み心地は上々！	池田　秀彦
47		それぞれの時間	中務　正人
48		朝寒の鉄路	中島　義人
49		愛情	川端　清志
50		暮行く湖畔	長谷川　せつ子
51		なみだ雨	木村　孝一
52		ひまわり列車	岡本　展彦
53		追憶	久島　正博
54		木漏れ日に包まれて	仲野　隆
55		水中に映える！	中川　直人
56		ブラッサム	松田　奉子
57		伊那梅苑	吉田　利男
58		吐露	西山　秀一
59		微風	野村　昭夫
60		厳冬を超えて	吉村　紀夫
61		兆し	伊吹　達郎
62		錦秋	今野　俊和
63		孤高	大西　峰代
64		掌の中	矢野　暢英
65		月面着陸	中谷　恒夫

イラスト

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	チェキポン賞	命舞う	あおい
2		であい	坂田　苺
3	市展デビュー賞	誘惑	北
4		灌 SOSOGU	堤　啓太郎
5		北国	前田　涼帆
6	特選	キラキラ☆ワクワク	おおもり　でんぱ
7		ようこそ！	平野　有希
8		セミのぬけがら	林　瑛音
9	市展賞	ボクは葉っぱ！	清水　圭子
10		稲刈りをするダニたち	宇野　温子
11		AIとの結婚　～心に傷を負った人たち～	村田　真衣

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
12		父と赤い木の実	福田　和輝
13	京都新聞賞	OCEAN　WARMING	髙田　幸雄
14		オレンジ色の馬	園田　稔
15		シャーロックとワトソン　～2人を見つめるモリアーティ～	東郷　綾音
16	草津市国際交流協会会長賞	彼女の秘密	LEON
17	市展委員	風の吹く方へ	上原　結子
18	市展委員	ささやきの塔	和田　美紀
19	審査員	眠りの庭園	横山　夢
20	佳作	ロバの背中に小さな願い　～こころの荷物もはこべますか～	山口　恵子
21	e-radioエフエム滋賀賞	out of my league	我孫子　蒼
22	佳作	初雪	前山　三紀子
23		江戸人、琵琶湖の龍に出会う	みるくれーぷ
24		近江の英雄	武内　佑樹

日本画　　（審査員）　水　野　　収

〇総評

　個性豊かな作品が目を引きました。いわゆる日本画らしい作品ばかりでなく、自分の心の赴くままに表現のあり方を工夫された作品がありました。そのことが他とは異なる領域のおもしろさに繋がっています。作者も新たな試みを楽しんでおられるようです。

〇市展賞　　「静かに・・過ぎてゆく」　　仲川　千秋

　表現上の工夫がとても魅力的です。画面の上に、電柱、電線のおもしろさがあり、空の空間としての空け方も構図上良く考えられています。一方、路地の空間も生かされ、伝統的な街道のあり方が美しい。

〇特選　　「いのちの鼓動」　　藤本　梨恵

　写実性がありながらやや抽象的な表現がいのちの象徴として生かされ、白い線が、形と質をうまく表現しています。それをベースとして色彩が感性良く施され、美しい世界となっています。

〇特選（草津市教育会会長賞）　　「旧街道」　　山口　正男

　作者がおそらく幼少の頃から気持ちを傾けているお店のように思われます。その愛する気持ちが、画面構成と色彩の対比（夕焼空のピンク、シルエットとしてのお店の色模様、銅板の屋根の緑等）を美しくさせています。

〇特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞）　「片隅に」　　西野　薫

　扉シリーズの一環のようです。扉の材質、時を経た味わい、時代性に心を惹かれた作者が、日本画絵具、色彩、マチエールを工夫して扉から受けたメッセージを見る者に知らせてくれているようです。

洋画　　（審査員）岡　田　俊　一

〇総評

表現方法や材料が多彩であり、作者が「何を描きたいか」が明確な作品が多く好感を持ちました。光の表現を構成に活かした作品、観察から色彩、構成を構築した作品も嬉しく感じました。来年も感性豊かな作品を期待しています。

〇市展賞　「蠢く生命」　大森　治
画面構成と色彩を工夫した動きと空間の表現から、生命の感性にあふれた力強い作品です。これから制作される作品が楽しみです。

〇特選　「浜辺のにぎわい」　植西　勇人
逆光で表現された画面半分を占める干されたイカの透明感、遠近法で描かれた浜辺の様子が美しい光の空間をつくりあげた素敵な作品です。

〇特選（草津市教育長賞）　「タイムストーリー」　川岸　達雄
直線と曲線を巧みに配置した平面性の強い作品ですが、見る者に身近な風景の空気感を感じさせる作品です。次の作品を期待します。

〇特選（草津美術協会会長賞）　「黄昏時（琵琶湖の生命力)」　吉田　安今巳
見慣れた夕ぐれの琵琶湖である。「魞漁」の棒と鳥の配置で空間をつくりあげました。色鉛筆の明暗と色の強弱を巧みにコントロールして表現された美しい水面に心惹かれる作品です。

〇特選（ＫＢＳ京都賞）　「たらい舟」　藤井　康彦
たらい舟の配置が良く、画面に緊張感を与えています。水面を反射する光の美しさを色彩の変化によって、波の動きを無限に感じさせる素晴らしい作品です。

〇特選（草津市２１世紀文化芸術推進協議会会長賞）　「閉山の輝き」　蓮見　美穂
洞穴の壁がもう少し重厚さが欲しかったですが、外の光と垂れ下がる植物、手前の構造物で調子を整え、やわらかく、あたたかな光を表現しようとした作品で、水彩と色鉛筆の特性をうまく活かしています。

〇特選（ＢＢＣびわ湖放送賞）　「琵琶湖の夜景」　髙畑　誠
夜景の写真をもとに、水彩絵具で描かれた作品です。細かな建築物は平面的ですが、画面の隅々まで描き込み、水面の色彩と映る光がとても美しいです。画面を二つに分けて見える構成が残念です。

〇特選（草津市コミュニティ事業団理事長賞）　「頂上まで」　吉岡　友太郎
描かれた色がやや浅く単調に感じますが、構成している樹木の表皮を克明に追求し、明るい画面から家族の温かさを感じさせるほほえましい作品です。

彫刻　　（審査員）　土　田　隆　生

〇総評

当市展は無鑑査や市展委員の作品に支えられて、見応えのある展覧会となっている。さらに今後、彫刻の難しい素材や技法にとらわれない、新しい感覚のチャレンジが望まれる。その芽が今回の出品の中に見られたことは、その可能性を感じられて良かった。望むならば若い出品者がどんどん増えて、将来的にも立派に存続することを願う。

〇市展賞　　「始まる」　　岩崎　高志

「首」という素材を一つの塊ととらえて全体をよくまとめて表現できている。目を閉じているのも、その一つの「塊」の感じを高める効果を生み出している。髪・首部の処理も含めて、ベテランの味を感じさせる優作である。

〇特選　　「アデニウムモドキ」　　木村　順一

植物由来の発想からここまで抽象化する造形意識に驚かされる。立体造形の新しい可能性を開いていると言っても過言ではない。次はどんな作が生まれるのかと期待を抱かせる秀作である。

〇特選（草津商工会議所会頭賞）　「蒼茫」　　廣瀬　一行

メリハリの効いた良い作品である。細部の処理も技術的に高いレベルで仕事ができている。全体にモデルの若々しさを表現した秀作である。

〇特選（滋賀リビング新聞社賞）　「伐折羅大将おもて」　　良 有 無 門

かなりの迫力があり見応えのある力作である。材を生かした彫刻の丁寧さ、緻密さの技量に驚かされる。それを支える繊細な心の味が聞こえてくるようだ。

工芸　　（審査員）　河　合　徳　夫

〇総評

第６４回展は若い方の出品も多く、次年度へ向けての期待が持てる回となりました。出品者それぞれが自由な発想で制作され明るく楽しい会場になりました。

〇市展賞　　「切り絵　食卓上のグラス」　藤本　信也

緻密に切りぬかれた切り絵のグラスに淡いピンクの液体が注がれている様子が静かで密やかな時間を感じさせます。

〇特選　　「条件付特定外来生物」　草瀬　真吾

巨大なザリガニです。その大きさが外来生物に感じる圧迫感を思い起こさせる様です。作者の思い切った発想を楽しく感じる事が出来ました。

〇特選（草津市議会議長賞）　　「不老不死」　古庄　祐翔

持ちうる技術でなんとか作品を制作したいという気持ちが伝わって来ます。力む亀が作者を表している様で少しのユーモアを感じました。

〇特選（草津ライオンズクラブ会長賞）　「網をばらく」　深田　宏

網を繕う漁民の姿と網を通して働いている人々の姿が切り絵で表現されています。作者の労働への眼差しを感じる作品です。

〇特選（えふえむ草津賞）　　「流転」　金澤　真叶

高さ６０ｃｍを超える陶芸作品です。流動性の有る青い釉薬を掛け動きを感じさせるなど、技術的に高度なテーマに挑んでいます。

〇特選（ＺＴＶ滋賀放送局賞）　　「炎舞」　加地　景子

作品の口の周りに植物の葉を付ける事で作者の感性を感じさせます。焼成による暖かみの有る色合が作品をうまくまとめています。

書　　（審査員）　山　本　南　竹

○総評

昨年と同数の出品点数でしたが、作品内容は充実し、審査も困難を極めました。漢字・仮名・調和体・篆刻と多岐にわたり、それぞれが努力された充実感がありました。来年にむけて更なる古典の学習と表現内容が向上されることを念じています。

○市展賞　「天の香具山」　長谷川　豊博

仮名文字の縦に流れる曲線美と墨量の潤から渇への自然な変化。左右の行の呼応する動きと空間（余白）の美しさが素晴らしい秀作です。

○特選　「西句橋」　西川　文苑

卓越した筆さばきで一気に書き上げた充実感溢れる作品です。各行がまっすぐに通り、文字の大小、墨量の変化、線の太細の変化と多彩な要素が一体化し、完成度の高い作品です。

○特選（草津ロータリークラブ会長賞）　「「觀獵」王維詩」　髙井　恭子

中国明清時代の傅山の書を基調とした変化に富みながら統一感ある素晴らしい作品です。力強い太い線と鋭い細線、曲直の交錯した線。相当書き込まれた秀作といえます。

○特選（中日新聞社賞）　「田家雑興」　宮﨑　海山

力強く堂々とした作品です。充実感がありますがやや重く感じます。文字の大小をもう少しつけ、行間がすっきりあくような工夫がほしい。

○特選（毎日新聞社賞）　「柳宗元詩」　西川　實智子

扁平な文字を基調とし、左右の行との呼応がしっかりと出来ています。筆毛の表裏をうまくつかうことで、線の表情に変化が出ると思います。ゆったりとした運筆が出来ることを望みたい。

写真　　（審査員）　金　澤　　徹

○総評

今年は写真に長く触れてきて、緻密さや構図などもよく研究されている方が多く出展されていると感じています。もちろん、このような作品を見せていただくのは楽しみなのですが、全く未経験の方、家族の方や友人が、身近な人や身の回りの日常を写しているような作品の応募が少なかったことはさみしく思っています。今や写真は誰でもが扱えるメディアです。見ていてほっこりとする作品や、型にはまろうとしない作品も、もっと見たいと感じています。

○市展賞　　「氷海の狩人」　　永井　敏夫

モノクロームでシンプルな力強く躍動感のある一瞬の作品です。圧倒されました。

○特選　　「鉄骨の回廊」　　林　久雄

ガラスに映る風景や鉄の構造物の面白い形を見つけていますね。幾何学的で一見シンメトリーかとも思えるところが、実はそうではない形を捉えているところに惹かれました。

○特選（レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞）　「流紋氷彩（共演）」　　田中　延子

寒い冬の日に自然の力での波打ち際に作られたひとときのシーンが、素敵に表されています。

○特選（平和堂賞）　　「猫の細道」　　中村　友美

猫が赤い手すりを通って「我が道を行く」姿が、カップルの後ろ姿の壁の絵とバランスをとりあって絶妙に表されているのだと感じました。

○特選（朝日新聞社賞）　　「わたしも参加」　　田中　康明

一生懸命に祭りに参加しようとしている少女の表情が想像できる力強い作品です。

○特選（ＮＨＫ大津放送局長賞）　　「或る日の光景」　　中村　若枝

背景に写っている顔のシルエットと、横顔の男性の帽子とマフラーが良いアクセントになっています。

○特選（読売新聞社賞）　　「梅雨のメロディー」　　佐々野　京子

画面の中のあじさいと、それを意識した傘の配列をうまく写しとっていますね。下から見上げて撮影している人の姿も含めて、梅雨時の特別なひとときを見せてくれています。

○特選（草津市社会福祉協議会会長賞）　　「お花見散歩」　　西村　敬治

満開の桜の下で小さなこどもたちが、春ののんびりとした時間を楽しんでいる姿が伝わってきます。高層ビルに違和感を覚えるとはいえ、これが昨今の街なかでの微笑ましい風景なのだと思います。

イラスト　　（審査員）　横 山　　夢

〇総評

本年は、コラージュやミクストメディアを生かし工夫を凝らした作品が充実していました。作品と額装の調和がなされているものが多く、佳作として選ばれています。「描く」他に「見せる」作品としての意識をとても感じました。

〇市展賞　　「ボクは葉っぱ！」　　清水　圭子

鮮やかな色を対比させながら効果的に配色されています。タイトルが良くて、主人公に親近感を抱かせます。奥に他の生き物を配置することで絵の中の世界に奥行きを持たせ、見る人の想像を広げる手がかりを作っている、とても上手い構成になっています。

〇特選　　「キラキラ☆ワクワク」　おおもり　でんぱ

ウェットメディアとドライメディアを併用していて、画材の質感の楽しさも見どころです。画面の隅々まで使い切り、誰もが知る物語のキャラクター達が、仲良くしている姿のひとつひとつに、ふき出しを付けたくなるような面白さがあり、かわいらしい色彩とちりばめられた星に、見る人の心もワクワクしてきますね。

〇特選（草津市国際交流協会会長賞）　「彼女の秘密」　　ＬＥＯＮ

額装を入れた全体で構成されたコラージュ技法が面白い。色相をしぼり込んでいて瀟洒（しょうしゃ）な作品に仕上げてあります。手袋、衣服の柄、髪の形、こだわった美しさがあり、遠くからも近くからも見入ってしまう魅力ある人物像に仕上がっています。

〇特選（京都新聞賞）　　「ＯＣＥＡＮ ＷＡＲＭＩＮＧ」　髙田　幸雄

コラージュの手法で構成された海には飛沫やかすれ、紙の四方にはちぎり技法も施されていて、アナログの手法の勢いから情熱を感じます。自然界の厳しさや生命の躍動が伝わる作品です。

〇特選（e-radio エフエム滋賀賞）「ｏｕｔ　ｏｆ　ｍｙ　ｌｅａｇｕｅ」　我孫子　蒼

さらりと淡白な描画に重ねられた葉には自然のテクスチャーが表されていて、秋の季節感が心地良く、見る人に伝わってきます。街の中で足を止めて見てしまうような、ふわりとした空気感のある作品です。

〇特選（チェキポン賞）　　「命舞う」　　あおい

神話的な衣装の女性、カーブした水平線、火花から生み出される生き物、それらのモチーフ達と大きな広がりを感じさせる構成に壮大なストーリーを感じます。夜明けのような色彩の中の「赤」というテーマカラーにタイトルの中にある「命」というイメージがしっかり表現されています。明暗の構成も上手く作者の描く力がのびのびと表れていて見る人の心を掴みます。